



LAZONA^{ラゾーナ} 藤尾歴史散歩

藤尾学区まちづくり協議会歴史文化部会



第14回 月心寺・走井の井筒

京阪電車大谷駅から追分方向に向かって坂道を下ると月心寺（現在は常時は無住）があり、門をくぐると名水「走井の井筒」があります。

古くから東海道を往来する旅人たちが、この清水を求めてここに足を止めました。この名水は詩歌や大津の錦絵にも登場しています。

江戸時代、この走井の名水をもつ茶店の裏側には庭園がありました。池泉回遊式の庭園で、山の斜面を見事に利用し、中央には池泉を配して、それに味わいのある石橋が架けられていました。この庭園が荒廃するのを惜しんで、画家の橋本関雪が別荘として購入して修復に力を注がれ、禅宗の寺として開山されて月心寺となり、最近まで村瀬明道尼が住職をされていましたがお亡くなりになり、現在も橋本家が管理されていますが常時は無住になっています。

（文・松井佐彦）



●月心寺内にある走井の井筒

関の清水に影うつし行き交ふ人の通路に
藤尾小学校校歌



●月心寺入口（現大谷町）
※現在個人拝観不可。団体のみ要予約（有料）



●伊勢参宮名所図絵より「走井」

余話

月心寺の住職だった村瀬明道尼は「あんじゅさん。」「庵主さん。」と親しまれ、NHK 朝の連続ドラマ『ほんまもん』のモデルとなった人です。京料理・吉兆の初代も絶賛した月心寺の精進料理は「庵主さん」の手づくりで、特に胡麻豆腐は絶品！全国の観光バスが門前に停車する時期もありました。「人気の秘密は？」その質問に「ぎょうさん時間をかけてつくっているだけや！」とひと言。「あんじゅさん。ごちそうさまでした。」（歴史文化部会）

バックナンバーご希望の方は市民センターまで

